平成 20 年度大学院教育改革 支援プログラム(文部科学省)

島嶼看護の高度実践指導者の育成

沖縄県立看護大学大学院 取組実施担当者 (代表者)神里みどり

沖縄県における島嶼看護の必要性



-島嶼現地における履修プロセス

講義ならびに現地・遠隔ゼミ

7

島嶼地区特有の健康問題の把握

研究計画書作成

・ 倫理審査委員会による審査

現地共同プロジェクト研究、調査研究

課題研究·特別研究論文審査

研究成果の公表、地域への還元

共同指導体制 グループワークに よるプロジェクト型 演習・研究



島嶼看護における教育研究課題

海に囲まれ限定された地であること による多文化圏との交流と歴史、そ の健康生活への影響

島嶼の自然的文化的諸条件からくる 健康生活上の課題と問題解決

5



6

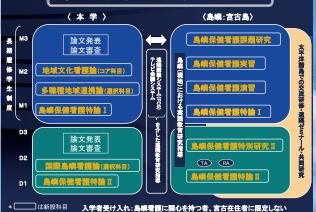
4 プログラムの目的・特徴

島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育 研究指導ができる看護指導者の養成

島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実現 できる高度な島嶼看護専門能力の育成

宮古島を拠点にした島嶼看護学の現地での 教育研究指導

島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育



島嶼看護の新設科目



10

修了後に期待される人材像

- 类吃掉-1-前期现现,安贴比较,现象化-1

保健所・市町村の保健環際分野の責任者

病院の副院長、訪問者護ステーションの所長 保健医療福祉領域におけるケアコーディネーター、ケア開発者

学部・大学院研究科の現地実習指導者 大学院ならびに参考との共同研究者

大学院博士後期課程: 実施教育指導・研究能力 島橋保祉者議学の教育研究指導にあたる大学教員 実施的教育研究指導にあたる隣族指導教授等

9 プログラムの支援体制

プログラムの適正運営に関する評価

遠隔システムの充実(テレビ会議など) 現地の講義室、ミニ図書館の確保 現地指導者の選定、教育指導調整会議、FD教育 演習・実習のための講師または助教1名の確保 研究科教務委員会による指導体制

島嶼看護の高度実践指導者が育成される

期待される成果

離島地区での保健医療福祉が活性化される

島嶼看護学が確立される

www.okinawa-nurs.ac.jp